



Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第41号

目次

- 平成19年9月ISO認証取得を目指し、様々な活動を開始
- 科学研究費補助金説明会
- 「オープンソースを使った WebGISおよびセンサーネット」に関するセミナー
- 新理事ご挨拶
- 施設部職員と学生で施設点検パトロールを実施
- 三重県科学技術振興センター視察会開催
- 越智博通氏(三重大学OB、中国企業社長)による講演会を開催
- 生物資源学部教育貢献表彰
- 講演会「アカミック・ハラスメントをなくすために」を開催
- JICA国際協力入門セミナー
- 教育学部長候補選出

おしらせ

- ・国際交流センターから

平成19年9月ISO認証取得を目指し、様々な活動を開始

9月17-18日、28-29日の2回に分けて、内部環境監査員の養成のため、生物資源学部講義室で「ISO内部監査研修会」が開催されました。渡邊理事(総括環境責任者)を始めとする環境ISO推進室員と環境ISO学生委員および各部局から推薦された教職員計55名が受講し、「ISOの規格要求事項と内部監査員」の心構えを学ぶと共に、監査員と被監査員に分かれて「模擬内部監査」を行いました。修了テストでは、全員合格し「ISO14001内部監査員養成研修修了証」が渡されました。



「環境報告書2006」

また、環境ISO推進室、学生委員会および施設部が中心となって、作成作業を進めていた2005年度の環境に関する状況をまとめた「環境報告書2006」<http://www.mie-u.ac.jp/home/open/pdf/EMR2006.pdf> が完成しました。この報告書は、本学の環境に対する取り組みを社会へ報告すると共に、環境教育のテキストとなることを願って作成したもので、広く内外の皆様にご覧頂きたいと思っております。

科学研究費補助金説明会

10月2日、三翠ホールにおいて、科学研究費補助金の説明会が開催されました。あいにくの雨模様となりましたが、学内研究者、事務職員を合わせ約100名の参加者がありました。学長挨拶の後、金子聡助教授・工学研究科による「科学研究費補助金獲得に向けて」と題する講演と森野理事(研究担当)による本学の科研費の採択状況や、厳しい対応が求められている不正防止について詳しい説明に続いて研究支援チームリーダーによる来年度公募に関する資料の説明がありました。その後も応募方法の質疑応答が行われました。詳しくは、<http://www.mie-u.ac.jp/gakunai/kaken/setumei/3/3-1.html> をご覧ください。

「オープンソースを使った WebGISおよびセンサーネット」に関するセミナー



国際交流センター国際教育部門が主催する標記セミナーが、本多 潔 本学連携助教授・アジア工科大学準教授のチーム(アジア工科大学博士課程学生: Mr. Nguyen Duy Hung・大阪市立大学博士課程学生: Mr. Sarawut Ninsawat、E-Labo Experience 代表取締役: 島村 博)を招いて10月23日、総合研究棟Ⅱ 第2・第3会議室で開催されました。セミナー

では、日本語と英語を交えて、オープンソースを使った WebGISおよびセンサーネットに関する詳しい説明とデモが行われました。大学内外のGISの専門家に加え、GISに興味を持つ教員・学生が多数参加し、GISを身近に利用する技術を理解しようと熱心に聞き入っていました。

新理事ご挨拶

10月1日付けで新しく理事(財務・経営担当)・事務局長に就任された三浦春政氏よりご挨拶をいただきました。

「これまで文部科学省などで、大学・学術行政(設置認可、医学教育、学術情報、産学連携など)を経験してきました。今後は大学の現場の一員として、法人の運営改善や大学全体の改革の推進について、教職員の皆様とともに全力を尽くしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。」

今後、同氏には本学のさらなる発展へ向けてのご活躍を期待します。



三浦春政理事・事務局長

施設部職員と学生で施設点検パトロールを実施

9月25日、上浜キャンパスにおいて施設点検・巡視グループ（施設部職員）と環境ISO学生委員会の学生らが施設点検パトロールを行いました。この点検は、毎年、施設部職員が施設の現状を把握し、整備方針に基づき緊急度に応じて優先順位をつけ、計画的に施設整備を実施するために行っていましたが、今年は施設を毎日利用している学生の意見を反映するために、環境ISO学生委員会の学生と共同で行いました。近々、点検結果を報告書としてまとめ、今後の施設整備計画に活かす予定です。



三重県科学技術振興センター視察会開催



9月25日、10月6日、創造開発研究センター主催で三重県科学技術振興センター視察会が開催されました。視察会は、三重県の公設試験研究機関である科学技術振興センター (<http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>) の活動を理解し、その連携を強固にし、研究の交流を円滑に行うことで共同研究等の外部研究資金獲得を目指すなど、産学官連携の推進を目的として行いました。第1回は、保健環境研究部と工業研究部、第2回は、農業研究部と水産研究部を視察し、本学教員、コーディネーター等79名が参加しました。森野理事から挨拶と参加者の紹介、菅原社会連携部門長から三重大学の産学官連携について説明を行い、各研究部からは、主な事業の紹介の後、各施設を回り、研究内容と設備の説明を受けました。

越智博通氏（三重大学OB、中国企業社長）による講演会を開催

10月4日、三翠ホールにおいて、本学工学部電気工学科一期生で北京陸通印刷有限公司及び上海陸通印刷有限公司の社長である越智博通氏による講演会が三重大学現代／知財教育GP（代表：教育学部 松岡守教授）の活動の一環として国際交流センターと共催で開催されました。「中国における起業」と題した講演で、学生に向けて「自信を持って」「夢を持ってチャレンジを」「先輩は頼れ」など、力強いエールのこめられたお話しが展開されました。

生物資源学部教育貢献表彰

10月11日生物資源学部で、教育貢献教員の表彰式が行われました。講義部門では「生理活性化学」を担当された稲垣稜助教授が、実験・演習部門では「水理実験」を担当された伊藤良栄助手と石井敦助手が表彰されました。この制度は、発足から2年半を迎えましたが、今回は学部独自のものではなく全学共通の授業評価アンケート結果を利用して選考が行われ、また、「総合満足度が小数点第1位で同点の場合は、受講者数の多い方の科目を担当した教員を表彰する」といった新しいルールが適用されました。



講演会「アカデミック・ハラスメントをなくすために」を開催

人文学部は、10月11日、教職員を対象とした標記講演会を「NPOアカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク」代表理事の御興久美子氏を講師に迎えて開催しました。人文学部では、セクシャル・ハラスメント防止講演会を毎年開いてきましたが、今年は、より広い観点の「アカデミック・ハラスメントをなくすためにー快適な研究・教育・学習・労働環境づくりー」というテーマで、独自に制作されたビデオなど具体的な事例も紹介しながらお話いただきました。教職員約80名は、熱心に講演に聞き入っていました。



JICA国際協力入門セミナー

10月11日、三翠ホールにおいて、国際交流センター主催の標記セミナーが開催されました。講師に元青年海外協力隊員で現JICA職員の3名（ホンジュラス・小学校教諭として派遣：宮腰宏美氏、ニジェール・識字教育者として派遣：湯木朋子氏・本学OG、グアテマラ・村落開発普及員として派遣：近 健太郎氏）を迎え、「青年海外協力隊とは？そこで得られたものとは？」などJICAの概要説明や青年海外協力隊についてのパネルトークが行われました。パネルトーク終了後の質疑応答では本学学生を中心とした参加者から、熱心な質問が飛び交い青年海外協力隊について関心の深さが伺えました。

教育学部長候補選出

10月11日、丹保健一教育学部長の任期満了に伴う次期学部長候補者の選挙が行われ、山田康彦理事（教育担当）が選出されました。任期は、平成19年4月1日より2年間です。

お知らせ

国際交流センターから・・・「国際貢献フェスタinみえ2006」開催

開催日時：11月18日(土)～19日(日) 11:00～17:30

開催場所：アスト津3F・4F

内容：ワークショップ・ワールドカフェ・ワールドしゃべり場・写真展示等

本学の留学生も多数参加しております。申し込み等詳しくは、www.pref.mie.jp/kokusai/hp/ をご覧ください。

投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治 (vpre-info@mie-u.ac.jp) または 井上真理子 (mariko-i@ab.mie-u.ac.jp) まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで (<http://www.mie-u.ac.jp>) ご覧いただけます。》 編集責任者 / 理事・副学長 渡邊悌爾